

**1 保健医療介護福祉の専門職が異なる分野
の地域活動と関わる意義**

2 これからの介護予防に住民主導で取り組む意義

東京医療保健大学大学院看護学研究科 非常勤講師
(公社) 地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター 参事

村中 峯子

**1 保健医療介護福祉の専門職が異なる分野
の地域活動と関わる意義**

2 これからの介護予防に住民主導で取り組む意義

現代の地域社会が抱える課題

一つの領域、一つの機関
一つの解決策では決して解決できない
複雑で、様々な要因がからみあっている

地域にあった総合的な視点や、
連携が必要

例) 被災地

- **高齢独居の女性**(地域包括支援センターが支援)
近居の娘夫婦の食事の世話をしているのに、自分の面倒をみてくれない。実は認知に問題。
- **娘夫婦**(市町村保健センターが支援)
知的な障がいがありつつも、精一杯、子育て
被災前は、同居していたが、災害で、別居となり、支え合いのバランスが崩れてしまった家族。

行政担当者
保健医療介護福祉の専門職

一般論として、専門領域の中で物事を発想しやすい

異なる領域との出会い

1人の生活者としての視点
新たな創意工夫



行政や専門的な視点からの「支援」の発想

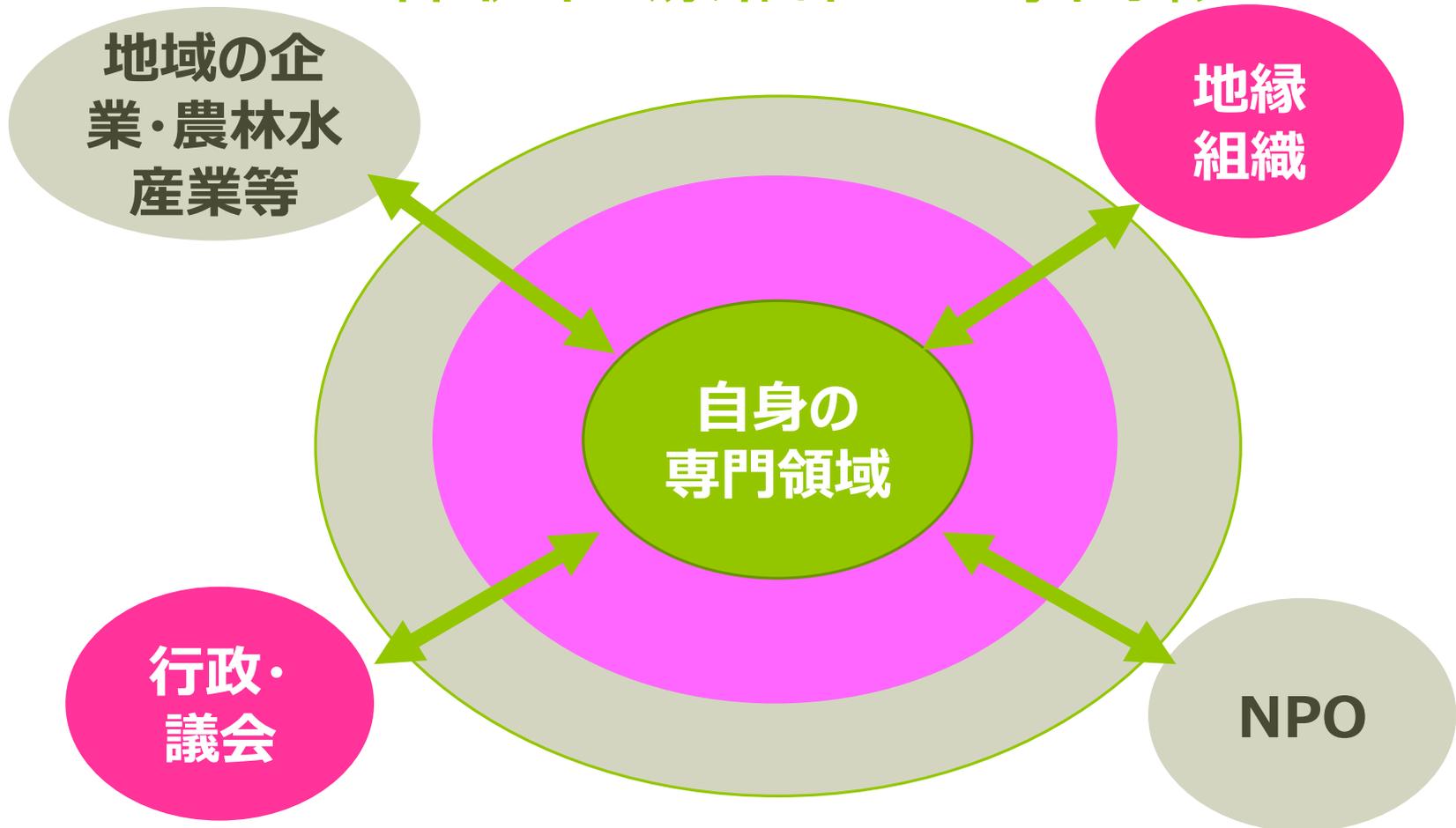
例)
困っている人⇒どう助けるかという視点になりがち

- ・ 高齢の脳血管疾患後遺症の方
室内移動や外出困難、死にたい
⇒ 支援する場を探す
でも、社会資源がない・・・

- ・異なる視点からの気づき
- ・障がいを、障がいでなくする
例)
- ・建築関係者との交流によって、
玄関がだめなら縁側から出入り、撤去可能な壁なら撤去
- ・できることが、どんどん増えて元気に

⇒建築・土木関係者と保健医療福祉専門職のコラボで、ユニバーサルデザインを考えたまちづくりへ

地域共生社会の中 保健医療福祉の専門職



1 保健医療介護福祉の専門職が異なる分野
の地域活動と関わる意義

2 **これからの介護予防に住民主導で取り組む意義**

住民さん相互のつながり
良い意味での競争心
何気ない声から生まれるアイデア
良くしたいという願い

こうした声にも耳を傾ける

- 何でも地域に押し付けられても、限界がある
- 1人でいくつもの役を担っている、なり手がいない



**「お願い」では限界
共に考え創意工夫のある取組が必要
Key word ; 生きいき、楽しい、やりがい**

新しい時代の専門職 新しい時代の公務員

- 
- 地域で生きる一人の人間としての社会参加
 - 豊かな人間性とコミュニケーション能力
 - 住民に身近な存在
 - 新たな課題に取り組む進取の気性
 - 創造力、状況に適切に対応できる柔軟性

- ・ **専門職なのに「・・・」と褒められる専門職**
- ・ **公務員なのにと、良い意味で驚かれる公務員**

保健師のみなさまへ

- ◆ **柔軟な発想で、**地域の人々や多様な分野の方々と、とともに展開できる力を伸ばそう
- ◆ **地域の人々や多様な分野の方々と共に考え、課題を分析し、解決に向けた取組を大切に!**
- ◆ 正解の見えない新たな課題に、**挑戦し続けよう!**
- ◆ 「踏襲」「画一的」から、**地域に見合った個性的な取組へ!**
- ◆ 続けている自分や仲間を**肯定しよう!**
- **みんなが健康で、役割を持ち、支え、支えられながら、笑顔になれる地域を目指そう**